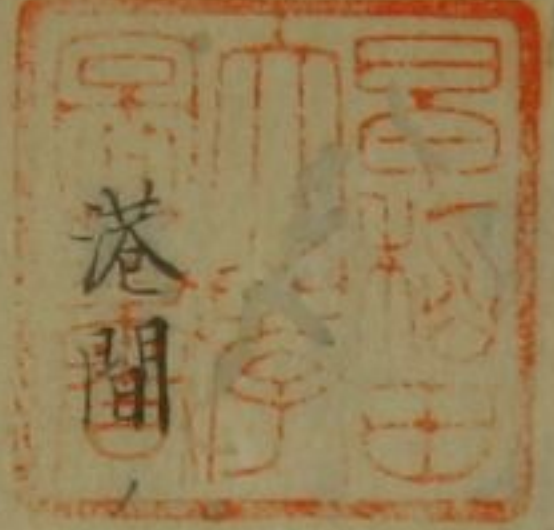


414
A 928



第三百廿二号

十二月五日東京新聞

日本司法ノ権

説ニ摺レハ新春慶賀ノ紛擾稍定マレルヤ
否直チニ條約改正ノ議ニ及フヘキ由ニテ其期
既テニ近キニ在レテ誰アリテ此事ニ論ヲ著ク
ル者ナシ條約中改正ヲ要スル條件ニ就テハ日
本内閣諸臣及外國ミニストルノ見各既ニ定
マリタレハ今日収々トシテ之ヲ新聞紙上ニ論
スルモ得テ之ヲ動カス一能ハス但シ領地外

大正十一年四月
大隈侯爵印

八葉



権云ハ一專ハ獨リ余曹ノミナラス凡ソ日本ノ無事ト光榮トヲ居哉スル人ノ到底論究セサルヲ得サル事ナリ余カ曩日モ言ヒシ如ク今日ノ日本ハ復タ千八百五十四年及千八百六十六年ノ日本ニ非ス外人ノ始メテ來ルニ當リ日本ノ無知不學ナルヲ恐レ之カ備ヲ為シタルハ固ヨリ正當ノ事ナレド其無知不學ノ日既テモ去リタルハ今ハ其備ヲ要セス故ニ今回ノ新條約ニ於テハ日本自カラ其國ニ主タルヲ得テ從來内外親附ニ大害ヲ為シタル諸醜辱ノ條

例ハ悉ク削リ去ルヘキナリ
余カ曩日ノ論ニ日本法律ノ取扱ヒ方今日ノ形ヲ存スル間ハ外國ミニストル其權ヲ解テ國人ヲ日本ニ委ヌルヲ能ハサルヲ言ヘリ然レド日本政府ト雖モ百事皆一日ニ為スヘキニ非ス矧ニヤ憲法ノ改革ハ固ヨリ容易ノ事ニ非レハ深謀遠慮ナクシテ輕卒ニ施行スルヲ能ハス然レハ僅カニ數月ノ中ヲ限リ條約改正マテニ悉ク其弊ヲ改メントハ實也上決シテ為ス可カラサルナレド余ハ竊カニ此難ヲ避クルノ一計ア

先ツ第一ニ永ク構問ノ廢スレト其手始メニシ
テ此他ニ日本政府時機ヲ得ルヤ否其法制ヲ改
革シテ之ヲコードニ作ルノ保約ヲ為スヘキナ
リコードハ次第ヲ立テ、法律ヲ編輯シ
タル者即チホレオンコードノ如シ
余ノ計トハ左ノ如クニシテ此計ニ採レハ多ク、
艱ムトナクシテコンシユル裁判ノ權ヲ限ルヘキ
一法ヲ構成スヘシ今夫レ怒テ外人トタケノ争
訟ニ至ルマテ悉ク日本ノ法衙ニテ裁判セシメ
ントスルニ為スコウアサルトニシテ日本ノ法

官ハ未タ外國貿易ノ法律ヲ知ラサレハ確カニ
其條例ヲ熟讀セル人ノ訴訟ニ臨テ之ヲ聽クト
能ハス且ツ余ノ察スル所ヲ以テスレハ日本人
蓋シ強テ此ノ如キ權ヲ握ラント欲セサルヘ
シ故ニ斯ノ如キ争訟ノ裁決ハ之ヲコンシユル及
外國裁判官ニ委任シテ可ナルヘシ次ニ外人ト
日本人トノ争訟中稍重大ニ渉ル者ハ之ヲ日本
ノ裁判官ト其時原告ト為リ或ハ被告ト為リタ
ル外人ノコンシユルト立會ヒ裁判シテ宜シカ
ルヘク又一等々下ツ細小ノ犯觸ニシテ其事重

ヲ以テ論スル時々或ハ數回重犯ノ後始メテ繫
獄ノ罪ニ至ル類、外人之ニ関ケルト否トヲ
論セス一ニ日本人ニ委託スヘキナリ

右ハ唯日本政府其法ヲコソドニ作り及其取扱
ヲ改整スルマテノ假法ナリ故ニ日本法律ノ取

扱ニ方整正ニ至レラ凡ソ二年ト見込ミ此二年

後、第二種、争訟、
公即チ外人ト日本人ト相関スル者ハ其外人ニ

起ルト日本人ニ起ルトニ論ナク皆日本ノ裁判

ニ任スヘキナリ又他年日本ニ於テ大イニ法律

ヲ改定スルノ約束ヲモ為シ置キテ其期限ハ條

約書中ニ定メ置クヘシ但外人ト外人トノ争訟

ハ今日未タ此ニ説クヲ要セルト分明ナリ

此ノ如クスル時ハ數年ヲ出スシテ日本自ケテ

其國ヲ管制スルヲ得ヘク且方今屢起ル所

不快ノ争論ヲモ多ク減スルヲ得ヘシ日本政府

其國法ヲ以テ其國ヲ治ムルノ權アルトハ万々

疑ニ容レサルトニシテ且ウ敢テ不正横邪ノ所

為アルマシキトハ吾曹ノ畧保スル所ナリ

余今此事ヲ論スルニ先テ殊ニ英亞二國ノ人ニ

告ケ知ラシメン 欲スルトアリ此二國人ハ日

本法衙ノ所為ニ就テ殊ニ多ク苦状ヲ唱フレ
其實ハ曾テ之ヲ苦状スルノ理ナシ是レ日本ノ
法律ハ善美ヲ悉スト謂フニ非ヌ又多ク改正補
潤スルヲ要セスト謂フニ非ヤレモ唯英人亞人
共ニ之ヲ其本國ノ法衙トノシ比較スルノ癖アリ
ット云フナリ今其本國ノ法衙ハ宇内ニ冠絶ス
ル者ナリヤ否之ヲ論セス俱若シ此輩ノ如クニ
歎々不平ヲ鳴ラサハ凡ソ大陸諸國何レニ至ル
ニ不平ナキ地ハナカレハシ歐洲ニ在テ法律ノ
事ヲ論スルモ其苦状ニ日本ニ於ケルト同シカ

ルヘク余自ヨリ歐洲ト日本トノ法律ヲ取テ相
對比スルニハ非レモ日本ノ法律ト虽モ稍深ク
翫味スレ時必ラスシモ彼軍^輩ノ言フ如ク悪カラ
ス其審問ノ法ハ宜シカラサレモ是レ良法ヲ採
用スルトラ忌テ故ヤラニ惡法ヲ頑守スルニハ
非ス唯其經驗知識ノ足ラサルニ因リテ年月ヲ
經レ中ニハ日本之ヲ悟ルノ時至ルヘシ只願ハ
クハ日本一意決心シ細小ナル爭訟ノ權ヲ悉ク
其手ニ握リ内外混淆ノ公ニ於テ參審スルノ外
一切他ノ條約ヲ立レトテ拒ムハキナリ然レ時

日本獨リ正理ノ論ヲ主張スルノミナラス遂ニハ國事管制ノ全權ヲ掌握スルニ至ルヘシ

十二月七日ハラド

台湾事件ノ靖定ハ支那ニ在テ甚ク愧ツヘキ者ナレ氏既ニ其感効ヲ發表セントスルノ前シアリテ滿州人等其國人ヲ鎮靜スル為ニ極メ放棄ノ布告ヲ為セリ常理ニ拠レハ右事件平和ノ結局ニ赴ムキタルニ因リ人民皆安堵スヘキノ布告ヲ以テシテ足ルヘキナレ氏實事ヲ平坦ニ述フルハ支那人ノ好ニ適セス百方粉飾シテ

國威ヲ回護シ其万国ニ卓越セル所ヲ示サントシテ恥ヲ恐レ垢ヲ含テ僅カニ買ヒ得タル平和ヲ赫奕タル功業ノ如クニ言ヒナシ日本傲然トシテ支那ノ板圖ヲ犯シタルヲ支那兵討テ之ヲ殲シタリト云ヘリ此等ノ事ハ吾曹ノ屢見レニ積レタルトニシテ是ヨリ先キ洋夷ヲ打ち卻ケタリトテ廣東市中ニ剪裁花門ヲ建テ、慶賀シタルト二回アリ之ニ因テ其官吏及人民ヲ驕滿ナラシメ遂ニ廣東ノミナラス其京城ヲモ陥没セラシメ辱ヲ貼シタルトハ歴々ト吾曹ノ眼ニ

在リ余等支那人ニ就テ此種ノ事ノ愚ヲ極ムル
トテ悟ラシメント欲スレバ支那人ハ理ヲ以テ
説ク可カラサル民ナレハ之ヲ如何トモスルコ
能ハス但支那人須カラク往日ノ例ヲ鑒シ之カ
為メニ蒙ムコトシ後罰ヲ少シク想起スヘキナリ
今回日本トノ事ハ吾曹ニ於テ親シク関涉ナリ
故ニ支那若シ高尚ノ風度ヲ以テ今回ノ事ニ處
セバ予等敢テ批評スル所ナク唯黙シテ己ムヘ
ナレバ支那ノ萬國ヲ蔑視シ獨リ自カラ尊大ニ
スル風ハ他日甚マ不快ナル後害ヲ生セントス

余平日支那内地ノ村落ヲ過クルニ村犬走リ來
リテ余ノ後ヘニ吠ユ余頭ヲ回シテ叱咤スレハ
直チニ頭ヲ垂レ尾ヲ掉テ逃レ去レバ曾テ之ヲ
恥ツルコトナシ外人進シ去レハ又其後ニ尾シ來
リ廻カニ遠方ヨリ敷々トシテ脅嚇ス支那人ノ
其民心ヲ鼓スルハ怨テ之ニ似タル者アリ今マ
日本ノ兵台湾ヲ去ラントスレハ其功ハ己レノ
勇氣決斷トニ出ツル者ノ如ク其踵後ニ立テ頻
リニ國民ヲ喚起ス是レ吾曹ノ目ヨリ視レハ極
メテ賤シムヘキ事ニシテ蓋シ衆人ノ視ル所亦

皆然ルヘシ又村犬ノ吠フルハ獨リ賤シクヘキ
ノミナラス其旅人ニ害アルト少クナラス之ト
同シク退却スル兵ノ後ニ立テ群吠スルコトハ萬
國ノ人ニ對シ傲慢ノ心ヲ生セシメテ極メテ害
アリ余カ數週以前ノ論ニ海岸ニ事アルハ支那
人ノ其西北境ニ於テ企ツル所ノ妄舉ヲ止ムル
ニ益トナルヘキト云ヒタリシカ今日ノ靖難
ハ唯支那官吏ノ最モ惡シキ性質ヲ恣マニ爆
發セシムルノ機會ヲ與ヘタリ今日支那人ハ其
心旺張シ其辱ヲ飾リテ勝利ト為シ日本人ノ名

汚ヲ退キタルハ其諸將ノ功ナリトスルホトノ
氣位ナレハ遠カラズ此心ヲ移シテヤコトズベ
クヲチユルキスタンヨリ追ヒ却ケント試シル
ナルヘク支那若シ此企ヲ為スルハ其危ウキト
迫ルカニアミール及ミカドニ對スルヨリ大ナラ
ントスルコトハ余カ曾テ言ヒシ所ナリ然レモ古
來ノ經驗ヲ以テ視ルニ諫言ハ無學不知ナル人
ニ入ルコト能ハス今日台湾ノ事件容易ニ綏定シ
タルハ却テ支那ノ害ニシテ支那遠ナラスノ更大
ナル艱難ニ陥ルコト甚期シテ待ツヘキナリ(北支

那
へ
ラ
カ
ド

譯
大島正七位